

お詫びと訂正

本誌2015年1月号特集『周術期患者への薬学的介入：抗凝固薬・抗血小板薬』の「表5」（p.72）中に誤りがございました。お詫びして再掲いたします（下線部が訂正部分）。（編集部）

表5 抗凝固薬・抗血小板の投与後ピークになる時間/日数あるいは効果発現時期

薬 剤	時間/日数
ワルファリンカリウム	3～4日
未分画ヘパリン	皮下注：2～4時間，静注：数十分
低分子ヘパリン	皮下注：2～4時間，静注：数十分
NOAC（抗Xa薬）	<u>2～4時間</u>
アスピリン	<u>3～6時間</u>
チクロピジン塩酸塩	<u>1～3時間</u>
シロスタゾール	<u>2～5時間</u>
PGI ₂ 製剤	<u>1～2時間</u>
PGE ₁ 製剤	<u>1～2時間</u>
イコサペント酸エチル	<u>5～6日目</u>
サルボグレラート塩酸塩	<u>1～2時間</u>

PGI₂製剤：ベラプロストナトリウム，PGE₁製剤：リマプロスト アルファデクス

お詫びと訂正

本誌2016年1月臨時増刊号『臨床の疑問に答える がん薬物療法アップデート』中に誤りがございました。お詫びして訂正いたします。（編集部）

		誤	正
56頁	本文下から 11行目	急性の下痢は，イリノテカンが アセチルコリン阻害作用を有すること，	急性の下痢は，イリノテカンが アセチルコリン <u>エステラーゼ</u> 阻害作用を有すること，
145頁	本文下から 2行目	(1) VEGFR-TKI	(1) <u>VEG</u> FR-TKI